

平成28年度 園長・管理者研修会

～幼保連携型認定こども園施設見学～

平成28年6月20日（月）



社会福祉法人 明照保育園
幼保連携型こども園 明照保育園
明照児童クラブ

★目次★

- p 1 保育時間・園児及び職員構成
- p 2 5歳児の保育
- p 4 4歳児の保育
- p 6 3歳児の保育
- p 8 2歳児の保育
- p 10 1歳児の保育
- p 12 0歳児の保育
- p 14 児童クラブ
- p 16 地域家庭親子支援



〔基本的な保育時間〕

	平日	土曜日
1号認定	8:30~15:30以前	8:30~12:00
2号・3号認定 ① 保育標準時間認定	8:00~16:00	8:00~12:00
2号・3号認定 ② 短時間保育認定		

〔時間延長保育について〕

	延長保育時間	延長保育代	おやつ代
1号認定	16:00~19:00内	16:00~ 150円	17:30~ 150円
2号・3号認定 ① 保育標準時間認定	17:30~19:00内	/	17:30~ 150円
2号・3号認定 ② 短時間保育認定	16:30~19:00内		16:30~ 150円

〔園児・職員構成〕 平成28年6月1日現在

園長、副園長、主幹保育教諭、事務員、フリー保育教諭、調理員				
年齢	クラス	在籍	担当保育教諭	
			常勤	非常勤
5歳児	つき1	27 (男16、女11)	3	
	つき2	28 (男14、女14)		
4歳児	はな1	28 (男10、女18)	3	
	はな2	28 (男10、女18)		
3歳児	ほし1	27 (男12、女15)	2	
	ほし2	28 (男13、女15)	2	
2歳児	ゆき1	24 (男14、女10)	5	1
	ゆき2	24 (男13、女11)	4	2
1歳児	そら1	15 (男7、女8)	5	9
	そら2	15 (男7、女8)	6	
0歳児	あか	9 (男3、女6)	3	
児童クラブ	1年生	29 (男23、女6)	3	
	2年生	32 (男21、女11)	3	
	3年生~	28 (男15、女13)	2	

【5歳児の保育】

「ひらめき かんがえ ひろげ みつけだそう！」

★つき1組 27名（男16、女11） ★つき2組 28名（男14、女14）

○4月当初、生活の中で次にやる事が分かっていても1つ1つのことを保育者に確認してから行う子が多かったことや色々なことへの興味や好奇心が、また1つ深いところを求めるようになってきていることを考慮して1年のテーマを決めました。

○すぐに答えを伝えるのではなく、ヒントを提示し、自分で考えていけるような関わりを心がけています。

○自分で行動し、発見したことを友達と共感し、更に展開していく楽しさや充実感、満足感を培っていけるような言葉かけや援助を工夫しています。

○見つけ出すプロセスで、友達や異年齢の子、様々な大人からの刺激を受けることや相手を思いやる視野の広がりを大切にしています。

○保護者にも思いを伝え、家庭でも園でも共通の思いの中で子育てに取り組んでいます。

<4月からの成長>

- ・年長児として、年下の子の世話をしたり、手本になったりする中で、1つ1つのことを、まずは自分がやらなくてはという意識が芽生え始めました。「きちんとできる」ことに意識を向け、やろうとする姿が変わってきている。
- ・園全体の当番活動や小さな子の世話、保育者や給食の先生の手伝いを通して、誰かの役に立ちたい思いが育っている。
- ・園内で実際に、多くの生き物を飼育することで身近に感じ、毎日、観察することで詳しく知り、関心が高まっていく様子も伺える。4月～6月は、花・虫・人・魚を描いたり、作ったりして遊ぶことで生き物の体の作りや仕組みを知り、生き物に興味や関心を高めていくことを大切に進めてきた。また、飼育することで生きていることを実感し、命に対する思いが育まれているように思う。命の大切さを学ぶことは、日々の生き物や植物の「命をいただく」という食育にも繋がっていくことが子ども達の会話から感じられる。食育の一環として、いただいている「命」や「作ってくれる人」への感謝の気持ちを培っていくことをねらい、年長児の最後には、1食を自分たちで作って食べることを計画している。
- ・友達との関わりでは、話し合っ決めてたり、相談したり、友達の言うことを素直に聞いて、自分の思いを伝えることが課題となっている。本日の活動もそうですが、「個々での達成感」や「みんなで作った達成感や満足感」に繋がる活動を徐々に増やしていき、友達と共感する経験の中から、友達の思いや考えを知り、友達との関わりがより深いものになっていくことをねらいとしている。



♪親子でマラソン♪（保育参加）

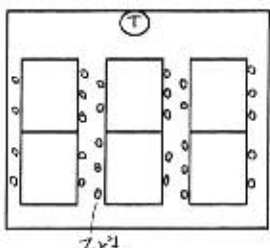
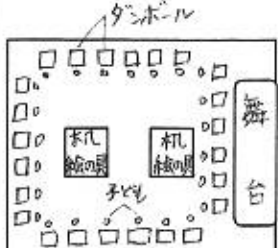
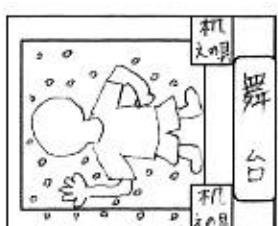
♪こいのぼり、みんなでお絵描き♪



活動のねらい

◎色々な画材使って人を描くことを楽しむ。

◎みんなで1つの大きな絵を完成させる達成感を味わう。

時刻	環境・準備	子どもの姿	援助・配慮
○活動「鉛筆や色鉛筆、クレヨンや絵の具を使って人を描き、色塗りをする。」			
9:30	「保育室」	○保育者の話を聞き、必要な画材を準備する。	・今からの活動を楽しみにしつつ、準備するものが見通しが立つように話す。
9:45		・自分の物を自分で用意し、共有の物は、グループの当番が用意する。	・子ども達が思わず描きたくなるような写真や人形を予め選んでおく。
10:00		○写真や人形、実物の人を描く。 ・写真を見て、描きたい思いが表情に表れる。	・時間を決めることで子ども達に見通しが立つようにする。
10:15		・細かな所まで、よく見て描こうとする。	・立体的な形に気づけるよう、人形を提示し、さらに描きたくなる雰囲気を作る。
10:20		・人形を見て、気持ちが高まり、友達と顔を見合わせる。 ・画用紙の小ささに驚く。	・紙の大きさや画材に変化をつけて、描くごとに描く楽しさに引き込まれていくような配慮をする。
10:30	・保育室に手紙が届く。 「遊戯室」	○保育者が手紙を読むのを聞く。 ・遊戯室で何をするのか？期待が高まる。 ○排泄・水分補給をし、遊戯室に移動をする。	・肯定的で自信に繋がる言葉をかけ、共感しながら楽しい雰囲気作りを心がける。
11:10		○絵の具を使って、自分を描いて色塗りをする。	・何が始まるのか？期待が高まるような演出を職員間の連携で作って出していく。
11:30		・絵具入れをもち、筆の使い方に気をつけて描く。 ・細かな所が描けず、塗りつぶしてしまう。 ○大きな紙に描かれた大きな人の色塗りをする。 ・広げた紙の大きさ、書いてある人の大きさに驚く。 ・力を合わせて色塗りをする。	・高まった期待感が逸れることのないように、移動の準備や移動中の世界観も大切にしていこう。
		○完成した絵を見る。 ・絵を見ながら、できた喜びや達成感を友達と共感している姿がある。 ・完成した作品を見て、他の人にも見てもらいたい、どこかに飾りたい思いが言葉に出る。 ○片づけをする。	・活動の流れを想定し、事前に保育者間で分担できるようにしておく。 ・ひとりひとりの子の描く場所や状況を踏まえ、必要に応じた言葉がけや対応を心がける。
			・この活動の中で1番盛り上がると予想されるポイントでは、高まる子ども達の思いを一緒に共感する。 ・楽しい雰囲気の中で、技術を培えるような援助や言葉がけをする。 ・工夫したところ、力を合わせたところ、難しかったところを話し合う時間をもち、充実感を味わえるようにする。 ・充実感の中で得られた思いやもっとやりたかった思い、次への意欲を共感し、次回の活動へ期待が繋がる言葉を心がける。 ・子ども達と一緒にいることで、キレイになっていく気持ちよさや片づけ終わった達成感をみんなで味わえるようにする。

【4 歳児の保育】

「みんなの花を集めたら…みんなで素敵な花束をつくろうよ！」

～一人ひとりの個性を大切に、でもみんなが集まったらもっと素敵だよ！～

★はな1組28名(男10、女18) はな2組 28名(男10、女18)

- いろいろな事に興味を深め、「楽しい」「おもしろい」事だけでなく、「なかなかできないぞ」「むずかしいな」という思いも経験をしてほしい。そして自分が楽しむことだけでなく、友だち同士が「なかま」として成長し合えるような関係づくりを心がけ、「みんなでやったら楽しかった」「みんながいたからできた」という喜びが感じられるようなクラスになるよう、保育に取り組んでいる。
- 友だちへの興味や関わりたい思いが深まりつつも、思うようにいかないことでトラブルに発展しがちな段階であることを、クラスだよりや日々の連絡などを通して、保護者と共通理解を図る。

〈4月からの成長〉

- ・ 期待を膨らませて年中児に進級し、何事に対しても意欲的に取り組んでいる。しっかりとした心と体の土台を基に自信を持って取り組める子が多く見られる。興味の持ったことや好きな事は「待ちきれない！」といった表情で目をきらきら輝かせ、あまり失敗を恐れずに挑戦している。
- ・ 好奇心が旺盛で、探求心も持って活動に取り組み、少しずつ自分たちで活動を発展させる力も出てきた。友だちの良いところを真似したり、教えてもらったりして、刺激を受け合いながら関わっている。4歳児によくみられる「友だちと一緒にふざける」姿や、「できるけれどやらない」という姿が見られる事もあるので、一生懸命に最後までがんばれるように、励まし、頑張りを認めていくよう心がけている。
- ・ 友だちに対して、相手の気持ちに気づき何かをしてあげようと考えたり、労わるなど優しい面もみられ成長を感じるが、まだまだ深く考える事ができなかったり、自分の気持ちを抑えることができないため、気持ちのぶつかり合いでけんかになってしまうこともしばしばである。自分の気持ちと友だちの気持ちがある中で少しずつ折り合いをつけることを友だちと一緒に様々な体験をすることで学び、社会性を育てている最中である。



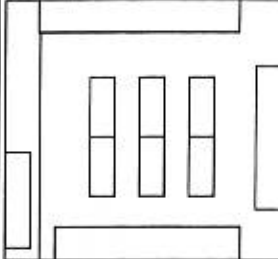
♪なにをつくろうかな♪
(指先を使って…)

♪みててね！ 競争だよ♪



活動のねらい

- ◎作り方を聞きながら、おやつを自分で作ることを楽しむ。
- ◎友だちと相談し、役割を決めながら、一緒に作る楽しさを味わう。
- ◎楽しんだり、わくわくしたりする嬉しい気持ちを表現し、友だち同士で伝えあい共感する。

○活動 「クッキング／あじさいミルクのゼリー作り」			
時刻	環境・準備	子どもの姿	援助・配慮
10:30 (花1組)	(場所) 保育室	○保育者の話を聞き、手洗いや支度を済ませる。 ・今から行う活動に期待を持ち、わくわくした表情を浮かべている。 ・時には友だちを手伝ってあげたり、手伝ってもらいながら支度をする。 ・エプロンのボタンや三角巾をつけるのに苦戦する子もいる。	・あじさいの花を見ながら話をすることで、子どものイメージを膨らませていく。 ・初めてエプロン・三角巾を使用するので、どのように扱うのかを分かりやすく説明をする。 ・自分で支度ができように見守っていきながら、できた時には大いに褒めていく。また、必要に応じて保育者が援助し、支度ができるようにしていく。 ・子ども同士で助け合う姿を認め見守り、思いやりの気持ちを育てていくようにする。
11:00 (花2組)	 (場所) プレイルーム 準備するもの ※前日にカップに子どもの名前シールを貼っておく。 ・ポウル ・オタマ ・泡立て器 ・トレイ } 各6個 + 予備 ・カップ…28個 + 予備 ・台拭き ・バケツ、消毒液 ・手指の消毒スプレー	・プレイルームへ移動する。 ○調理員の話聞き、完成したゼリーを見て、これから作ることへの期待やどのように作るのか疑問を抱いたりする。 ・調理員の説明を聞きながら、ジュースの入ったポウルの中に砂糖、ふやかしたゼラチンを入れる。 ・友だちが泡立て器で混ぜているのを「がんばって」と応援したり、揺れてこぼれないようにポウルを押さえたりと協力しながら活動に取り組む。 ・こぼさないよう慎重に自分の名前のカップにおたまでゼリーを注ぐ。 ・トレイにカップを並べて、友だちの物と自分の物を見比べながら満足げに目を輝かせる。 ・おやつ時間を心待ちにしながら、使った道具を班の友だちと一緒に片付けたり、机を拭いたりして自分たちで片付ける。	・今から使う道具や材料を紹介したり、完成したゼリーを見せたりするなど、ゼリーを作りたいと思えるような演出を心掛ける。 ・今から行う活動に期待しながら、同じ班の友だちと協力して支度ができるように環境を設定する。 ・ゼリーをこぼさないように気を付けて扱うよう伝える。 ・子どもの思いや言葉に共感しながら、ゼリーを作る過程が楽しめるようにする。 ・子どもの「なぜ？」という問いに答えながら、材料の不思議さや面白さにも興味を持てるように言葉掛けをする。 ・自分で作る楽しさを味わいながら、友だちと分け合ったり、道具を順番に使ったりできるように言葉のやりとりをしながら一緒に取り組めるようにする。 ・保育者も一緒に作りながら「上手に作れたね」「うまく固まるといいね」とできたことを共に喜び、満足感や期待感を味わえるように言葉を掛けていく。 ・ゼリーは冷蔵庫で冷やしたら固まることやおやつになったら自分が作ったゼリーを食べられることを話して、ゼリーを食べるまでの時間も楽しみにできるようにしていく。
11:00 (花1組)		・保育室へ戻る ○持ち物の始末をする。 ・エプロンと三角巾を畳んでロッカーにしまう。	・子どもたちとゼリー作りの余韻に浸りながら、子どもたちが分かりやすいようにエプロンや三角巾の畳み方を伝えていく。
11:30 (花2組)			

【3歳児の保育】

。。 どん どん ! 。。

★ほし1組28名(男13、女15) ほし2組 28名(男13、女15)

- どんなこともやってみようという意欲的な気持ちを大切に、安心してどんどん挑戦していけるような環境づくりや雰囲気づくりを心掛けていく。また一つひとつの生活習慣を丁寧に身につけていくことで感じる気持ち良さや満足感を十分味わい、子どもがなるべく主体的に取り組めるように配慮していく。
- 見る、触る、嗅ぐなど生活の中で感じる五感への刺激を保育者も一緒に感じ、共感していくことで一人ひとりの感性を育てていく。またその為の教材研究も保育者はどんどん取り組んでいく。
- 少しずつ他児への興味関心が出てくる時期に、あそびの中やみんなと活動することを通して、どんどん一緒に遊ぶことの楽しさや面白さを味わえるようにしていく。

<4月からの成長>

- ・進級したことに喜びを感じ、何事にも「やりたい!」と意欲的に取り組んできた中でたくさんの「できた!」を味わってきている。うまく出来ない場面や頑張りすぎてしまう姿も見られる中で、ロッカーの整理整頓、身だしなみ、姿勢の維持など、基本的な生活習慣を徐々に意識して生活を送る姿がある。また「お手伝いがしたい!」と張り切る姿も見られる。
- ・はさみやのり等を繰り返し使ってきたことで、道具を使って活動する楽しさを感じている。またあそびの中で水や絵の具、粘土など感触を味わいながら、保育者が使う道具の使い方を真似ながら、使い方のコツを掴もうとしている様子がある。
- ・生活にも慣れ、友だちと機嫌よく遊ぶ時間が増えている。戸外では砂あそびを一緒に楽しむ様子があり、ひとりあそびからままごと遊びの輪が広がっている。安心して自己主張をするようになったことで、やりとりの中では友だちとぶつかる場面も見られる。その際には保育者が仲立ちとなりお互いの思いを言葉で伝えることを経験している。



♪おはなしの世界♪

♪ふわふわ〜♪ (ソラ豆のさや取り)



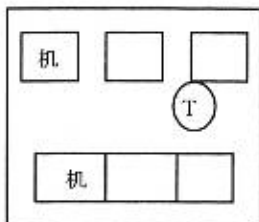
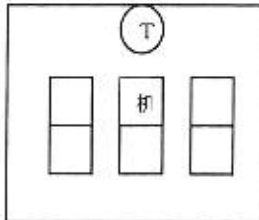
活動のねらい

◎寒天の感触を味わったり、形が変化したりすることに興味を持つ。

◎友達と言葉のやりとりや、イメージを共有して遊ぶことを楽しむ。

○活 動 「寒天に触れて遊ぶ。」 「寒天を使ってお店屋さんごっこをする。」

時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
10:00	<p><準備しておく物></p> <ul style="list-style-type: none"> 寒天(色々な色の寒天を事前に作る。様々な形の容器等に入れ、冷やしておく。) 透明の容器、スプーン、おたま、ネット、ペットボトル、コップ、ストローなどの廃材、水槽。 	<p>○手遊び「おみせやさん」をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な容器に入った寒天を見て興味を持つ。 寒天の作り方を見て、不思議そうに見入る子がいる。 保育者の話を聞き、寒天に触れたいという思いが膨らむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 「おみせやさん」の手遊びを一人ひとりが声を出して行うことで、みんなで行う楽しさを味わい、これからの活動に期待が持てる雰囲気を作っていく。 寒天あそびをすることに、期待が膨らむような話し方や演出を心掛ける。 「なぜ?」「どうして?」などの不思議さを感じ、考えたり興味を持ったりできるように見守り、必要に応じて言葉を掛ける。 一人ひとりの言葉や表情から丁寧に思いを受け止める。 「冷たいね。」「気持ちがいいね。」などと保育者も一緒に言葉にして感触を伝え合いながら、友だちとも思いを共感できる雰囲気を作っていく。 実際に保育者が手本となって見せることで、より感触や形の変化に興味を持てるようにする。 一人ひとりが楽しむ様子を受け止めながら、「もっとやってみたい」という意欲が持てるよう、道具を出すタイミングを配慮する。 水と寒天が混ざる様子から不思議さを感じ、興味が一気に高まるような演出を心掛ける。 水がこぼれることによって、床が滑るなどの危険がないよう配慮する。
10:05		<p>○寒天あそびをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 匂いを嗅いだり、手に触れたりする感覚を味わいながら気持ち良さを伝えようとする。 廃材を使って少しずつ変化する形や感触の違いを感じる。 スプーンやお皿等を使ってままごとあそびをする子もいる。 水と寒天を合わせた不思議な感触を楽しむ。 	
10:20		<p>○出来上がった、たくさんの食べ物を見てお店屋さんのイメージが膨らむ。</p>	
10:30		<p>○お店屋さんの準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 机や床に落ちている寒天を拾い集める。 出来上がった食べ物を机の上へ並べていく。 	
10:35	<p>○保育者の話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> お店屋さんごっこをすることに期待を持つ。 	<p>○お店屋さんごっこをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「いらっしゃいませ」「これください」などと保育者や友達とやり取りを楽しむ。 椅子に座り、自分で買った食べ物を食べたり飲んだりして楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しい雰囲気の中にもお店屋さんでの約束事を伝え、よりやりとりが深まるに関わる。 お店屋さんや、お客さんになって友だちと楽しめるような環境を設定する。 友だち同士の言葉や表情などでのやりとりが広がっていくよう見守る。
10:45		<p>○片づけをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 食べ物を机に置いたり、落ちていた寒天を拾ったり、雑巾で床を拭く。 	
11:00			<ul style="list-style-type: none"> 余韻に浸りながら、なるべく子どもが主体となり掃除をし、きれいになったことを感じられるよう必要に応じて個々に援助をしていく。



【2歳児の保育】

“元気いっぱい やってみよう！”

～ できたことの喜びからチャレンジへ ～

★ゆき1組 24名（男14、女10）、ゆき2組 24名（男13、女11）

- 保育者との信頼関係のなかで、「自分でやってみたい」という気持ちを自然に出したり、簡単な身の回りのことを意欲的に行ったりできるような自立援助をする。
- 「自分で！」と「やって！」の気持ちで揺れ動く成長の時期を見守り、「できた！！」という達成感や満足感を味わう経験を積み重ねられるような関わりを大切にしていく。
- 送迎時だけでなく日々の連絡ノートや、掲示板、メールなども活用し、様々な生活スタイルの保護者と密に連絡をとり、一人ひとりの成長や生活リズムを複数担任の保育者全員で共通把握する。
- 保護者の子育てへの思いに寄り添い、悩みや喜びを共感し丁寧な関わりを心がけていく。

〈4月からの成長〉

- ・ 4月から新園舎での新しい環境となり、子ども・保護者・保育者が気持ちよくスムーズな生活が送れるよう、他学年の職員とも連携をしながら進めるように心がけている。子ども達も生活の流れに慣れつつある。（昇降口・早朝保育・延長保育・排泄・手洗い・個人ロッカーの使い方など）
- ・ 継続児は、昨年度末の園舎工事にともない、園舎間の移動や公園への散歩などを例年よりも多く経験し、散歩では集団で歩く速さや距離など、脚力の育ちが感じられる。
- ・ トイレで排泄できたという喜びから自信につながったり、パンツを使いたいという意欲を引き出したりすることを大切にし、夏にかけてほとんどの子が布パンツでの生活に切り替わりつつある。送迎に近い時間帯では、紙おむつの使用を一覧表にして保護者と相互協力できるよう配慮している。
- ・ お互いの顔や表情を意識して見られるよう、子どもと保育者がひとつの円になって行う活動を積極的に取り入れ、大人との関わりを通して周りの子に関心を持ち始め、気の合う友達と同じ空間で見立て遊びをしたり、簡単な言葉のやりとりをしたり楽しむ時期である。
- ・ オイルパス、絵の具、紐通し、糊付け、粘土あそびなどの制作・創作活動を通して、様々な画材や素材に触れ、その扱い方や面白さを楽しみながら学ぶ様子が見られる。
- ・ 身近な自然や様々な素材に触れ関心を持ち、全身を使って遊ぶ経験をすることで五感を育てたり、友だちと遊ぶ楽しさの芽生えやきっかけを積み重ねたりしている。



♪使ったタオルをくるくる♪

♪ジャンプできるよ、せーの！♪



活動のねらい

◎新聞紙遊びを通して大胆に体を動かす。

◎イメージをふくらませながら、新聞紙で見立てあそびをする。保育者や友だちと新聞紙をちぎったり丸めたりして、音や手触りを楽しむ。

○活 動 「新聞紙あそび」			
時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
9:50	<p>〈場所〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室(ゆき1, 2組) <p>〈準備しておくもの〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙 ・シュレッダーで細長く裂いた新聞紙 ・段ボール ・ビニール袋 ・ままごと用の机 	<p>○保育者のまわり集まる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者の話を聞いたり、新聞紙を見たりして、「今から何をするの?」などと、わくわくする子がいる。 ・保育者が紙をちぎっているのを見て、驚いたり喜んだりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に必要な物の準備を事前に話し合い、スムーズにあそびが始められるようにする。 ・「なにがはじまるのかな」と子どもたちが興味を持てるような言葉かけをする。 ・保育者がそばにつき、落ち着いた話が聞けるようにする。 ・子どもの言葉や発見に答え、気持ちに共感していく。
10:00	<ul style="list-style-type: none"> ・十分に体を動かせるよう、保育室内を広くとる。 	<p>○新聞紙をちぎる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙を自分で手に取り、ちぎったり、やぶったりする。 ・ちぎった紙を「先生見て」と、保育者に嬉しそうに見せる子がいる。 ・「ビリビリ」「くすぐったい」などと、新聞紙の音や感触を言葉で表す。 ・床に散らばった新聞紙を見て喜びながらその中を歩いたり寝転がったりして楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの前に出て保育を進めていく保育者、個別配慮をしながら子どもと関わる保育者など、複数の保育者が連携を取り合って、子どもが活動に入りやすいようにする。 ・子どもの言葉に共感しながら、さらに遊びが発展するような言葉かけをする。 ・保育者も一緒にちぎりながら、紙の感触やちぎったときの音などの楽しさを共有する。 ・新聞紙の上を走り回って転倒しないように配慮する。 ・思いきり体を動かしてあそぶことが予想されるので、安全面に留意し、保育者同士で声を掛け合いながら臨機応変に動くようにする。
10:45	<p>・ままごと机や段ボール箱を出す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">箱</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">箱</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">机</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">机</div> </div> </div>	<p>○見立てや模倣を楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙を様々な大きさに丸めたり、細長くちぎったりして、食べ物に見立てる。 ・作ったものを机に並べ、食べる真似をして楽しむ。 ・友だちがやっているのを見て真似る。 <p>○片付けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散乱した新聞紙を段ボールに描いてある動物の口に入れる。 ・遊びへの思いを表現するなど、余韻を楽しむ。 <p>○次の活動の話聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の様子を見ながら、机や段ボールなどを用意し、見立て遊びのイメージがより膨らむようにする。 ・子どもによって、やり方は様々で楽しむ時間もいろいろなため、一人ひとりのペースを尊重し活動時間は余裕をもって進めていく。 ・片付けからも遊びが発展できるよう段ボールを用意し、子どもたちが興味を持てるようにする。 ・みんなで集めた新聞紙を見えやすい位置で見せ合いながら「動物がたくさん食べたね」「お腹いっぱいだね」などと声をかけながら満足感を味わえるようにする。 ・子どもたちを誘導する保育者、保育室の環境設定をする保育者に分かれる。

『芽が出たよ！』

★そら1組 15名（男7、女8） ★そら2組 16名（男8、女8）

そらに向かってすくすく伸びてね。をテーマに、自分でやろうとする気持ちの芽生えとともに、ズボンを自分ではこう、脱いでみよう、自分で食べようとする思いが表れ、まだうまくは出来ないが、自分でやりたい気持ちを大切にしながら、子どもの発達段階に合わせた援助をしています。園での様子を伝えながら、家庭でも、一緒に進めてもらうように働きかけています。

日々の生活の中で、食べる、遊ぶ、眠るという生活のリズムを家庭と一緒に整えていき、子どもが思いきりあそぶ、しっかり食べる、ぐっすり眠ることを目標としたい。

自我の芽生えから、友だちへの関心も高まっていく時期になるので、同じものがほしかったり、言葉で、うまく伝えれないので、手が出たりすることもあります。保育者が子どもの代弁者になって、子どもの思いに寄り添いながら、時には、衝突を経験する中で、友だちとのふれあいが楽しいものになるように、丁寧にかかわっていきたいと思います。

早朝、延長保育と、園で長い時間過ごす子どもも多く、朝受け入れた先生からの連絡をしっかり行い、降園時には、延長保育担任保育者や、連絡ノートを通じて、保護者に園での様子を伝え、翌日も、家庭での様子を聞いて、子どもの体調面、情緒面を把握して、保育するようにしています。

〈4月からの成長〉

0歳児からの継続児が半数いて、新入児は、4月当初、園生活に慣れるまで、不安で泣けてしまう子も見られたが、園に慣れている継続児の姿を見ながら、徐々に生活にも慣れ、落ち着いてきたことで、自分から進んで、遊べるようになってきました。

衣服の着脱を自分でやりたい気持ちが見られるようになり、着脱しやすいものを使うことで、家庭と一緒に、進めていくようにしています。

食事において、いろいろな味覚がわかるようになり、何でも食べる時期から、自我の表れとともに、好き嫌いが出てきている子も見られます。

みんなで食事をする楽しさ、いろいろな調理方法に慣れ、家庭とは違う慣れないメニューにも、少しずつ味を知らせて、様々な味や調理法に親しめるように進めています。

1歳児でも、月齢の違いなどから、はいはい、伝い歩き、歩きはじめ、走る子どもと、様々な姿が見られます。子どもの発達に合った、体を動かす遊びを提示したり、はいはい、つかまり立ちなどの子どもには、安全面に配慮しながら、より発達を促すようなあそびを経験できるようにしています。

型はめ、シール貼りなど、自分の指でつまんだり、なぐり書きや、指や手のひらを使った遊びを好んでいます。手指を使った感触を楽しむあそびに今後も親しんでいきたいと考えています。



♪大きな紙にみんなで絵描き♪



♪シールぺたぺた、ブロック遊び♪

活動のねらい

◎保育者や友だちと一緒に、粘土をちぎる、のばす、丸める、くっつけるなどをして粘土の感触や形の変化を楽しむ。

○活 動 「粘土あそび」			
時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
9:45	<p>《準備するもの》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粘土 ・粘土板 ・カップ ・型抜きが出来るもの <p>※粘土は形が変化しやすいように事前にこねておく</p>	<p>○自分の椅子に座る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粘土の形の変化を見て粘土あそびへの期待がより高まる。 ・保育者の話に興味に向かない子や席を立ってしまう子がいる。 ・保育者の問いかけに反応し、動きを真似する子がいる。 <p>○粘土あそびをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粘土板の上で粘土を転がしたり、ちぎったものを積んだり、丸めようとしたりする姿が見られる。 ・保育者が作るものを見て言葉を発したり簡単な見立て遊びをする子や、うたを歌いながら体を揺らしたりする姿が見られる。 ・保育者の出したカップや型抜きを手に取り、同じようにやってみようとする。 <p>○片づけをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら入れ物に入れようとする姿が見られる。 ・まだ遊びたい子もいる。 ・片づけが済んだ子から手を洗う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者が、粘土を丸めたり伸ばしたりするのを見せることでやってみたいと思えるような雰囲気を作る。 ・粘土の感触を楽しみながら、「へびさん、にょろにょろだね」、「まんまるおだんごだね」、など作ったものからイメージがふくらむようなわかりやすい言葉で表現し、共感する。 ・身近なものを作ってみせたり、ことばや歌で表現したりすることで作ってあそぶ楽しさが十分味わえるようにする。 ・カップを用意して、中に粘土を入れてみたり、型抜きを使ったあそびへも誘い、「ごちそう、おいしそう」「ばくばくばく」など、ごっこあそびにつながるようなことばをかけ、楽しめるようにする。 ・あそびに満足した子の様子を見はからって、順に片づけを促す。 ・まだ遊びたい子と、手洗いして次のあそびに入る子など、それぞれに保育者が寄りそう。 ・「楽しかったね!」「〇〇が作れたね!」「またやろうね!」などとことばをかけて、満足感につなげていく。 ・保育者が手を添え、洗い残しがないようにする。

『てとてをとりあって』

★あか 9名（男 3、女 6）

子どもにとってより良い育ちにつながるよう、保護者と協力しながら一緒に育ちを支えていく。また保護者一人一人の不安や戸惑い、喜びに共感しながら子どもの成長を喜びあえるようにしていく。保育園での様子を丁寧に伝えていき、子どもと保護者をつなぐ架け橋のような援助をしていきたい。

- よく食べる、よく遊ぶ、よく眠るという生活のリズムを大切に、入園前の家庭での生活リズムから保育園での生活リズムに整えていく。
- 延長保育になる子どもも多く、連絡ノートのやり取りを通し、保護者が安心して保育園に預けられるような環境、雰囲気を中心掛けている。また降園後の生活の様子を聞き、24時間を視野に入れ生活のリズムを作るようにしている。
- 食事は離乳食の時期であるため、「食べものしらべ」を家庭に配布し、食べられるようになったものに〇をつけてもらっている。一月に一度返却し再び記入してもらいやり取りをすることで、家庭と保育者と調理員と一緒に離乳食をすすめ、無理なく完了へつなげていく。調理員も一緒に食べることで、子どもの食べ具合や食事の形態（硬さ・大きさ）があっているかを見ることができ、子どもにとってより良い食事ができていると感じる。

〈4月からの成長〉

- 一人一人の発達段階や生活リズムに合わせた関わりの中、保育者との信頼関係ができ安心して生活する姿が見られる。
- 生活のリズムも整い、機嫌よく過ごし興味のあるものに自ら関わろうとする姿が見られる。
- 入園当初は保育者に食事を口に運んでもらい食べるが多かったが、手づかみ食べ等で自分で食べる事も大切にしてきた。現在はスプーンに興味を持ちコップで飲める子どもでてきており、今後も自分でたべた・飲んだと満足感を感じられるようにしていく。
- 新しい環境にも慣れ保育室内で安心して遊べるようになったため体をたくさん動かし、ずりばいからははいはい、つかまり立ちから一人歩き等と一人一人の発達が見られ、自分なりの移動手段で興味のある物に近づき探索活動を楽しんでいる。また、興味のあるものに手をのばし、手に触れたものを口に運び、物を認識しようとする姿が見られる。
- 砂遊びでは短時間であれば感触を楽しみながら遊ぶ姿が見られ、食事前の手洗いで水道に来ると喜び自ら手を出し水の感触を楽しんでいる。今後も感覚遊びを積極的に取り入れていきたい。



♪給食の先生と一緒に♪



♪おすな さらさら、楽しいね♪

活動のねらい

◎保育者と一緒に様々な水の感触に親しむ。

◎手や指、全身を使って水の玩具で遊ぶことを楽しむ。

○活 動 「玩具で水遊びをする」			
時刻	環境構成	子どもの姿	援助・配慮
10:30	<p><場所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室（ひよこ） <p><準備するもの></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水風船 ・水の入ったシート ・水の入ったペットボトル ・手拭きタオル ・雑巾 <p>○十分体を動かせるようスペースを広く取る。</p> <p>○水の入ったシートは上に乗ると滑りやすいので下に滑り止めを敷く。</p>	<p>○保育者の近くに座り、保育者と一緒に手遊びや歌を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者の歌に合わせて体を動かして楽しむ。 <p>○保育者が出す水風船を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者の持つ水風船に手を伸ばし、触ろうとする。 ・保育者や他児が触るのを見ている。 <p>○水風船で遊ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・握ったり、口にしたりしてどのようなものか確かめる。 ・振ったり投げたりしてたのしむ。 ・転がる水風船を追いかける。 ・不思議そうに見たり、怖がる子もいる。 ・保育者の顔を見たり、喃語で話したりする。 <p>○ペットボトルの玩具・水の入ったシートを出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルの玩具に興味を示し、自分なりの移動手段で近くにきてみたり、触ったりする。 ・水の入ったシートに触れたり、保育者に座らせてもらう。 <p>○片付けをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水の玩具をしまい、畳に集まり保育者のそばに座る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何が始まるか子どもが興味を持てる言葉かけをする。複数担任で連携をとり、そばにつき子どもが安心して活動に参加できるようにする。 ・保育者が表情豊かに触れることで、子どもも触ってみたいという思いが持てるようにする。 ・一人に一つずつ渡し、水の入った風船の感触を十分楽しめるようにする。 ・保育者も楽しそうに水風船に触れ、「きもちいいね」「おもしろいね」と言葉を添え、感触を味わえるようにする。 ・不安を感じる子には保育者がそばにつき、保育者が触って見せ、安心できるようにする。 ・感触を味わったら、保育者が転がしたり上から落としたりして、動きの面白さや驚きを共感していく。 ・子どもの様子を見て次の玩具に誘いかけ、水風船とは違った感覚を楽しみ、遊びを広げるようにする。。 ・新しい玩具に興味を示す子、引き続き水風船で遊ぶ子それぞれ保育者がつくよう連携をとり、遊びを十分楽しめるようにする。 ・一人一人の好きな玩具や遊び方を大切にしながら、無理なく様々な玩具に触れる経験ができるように誘いかけていく。 ・「たのしかったね」「またあそぼうね」と言葉で伝え共感し、満足感につなげていく。
10:50			

【児童クラブ】

明照児童クラブは牟呂小学校に通う卒園児を中心とし、乳幼児期を過ごし、情緒の安定がはかれる保育園という環境の中、年上の子や保育園の園児たちと毎日一緒に楽しく過ごしています。

◎明照児童クラブの特徴

子どもたちが安全で安心して過ごすことができるだけでなく、1年を通じてさまざまな経験・体験を積極的に行っていくことを大切にして、それらを通じて子どもたちのさらなる成長を促しています。

◎開設時間

平日 下校後（小学校休業日は午前7時から）～午後5時30分（延長保育は午後7時まで）

土曜日 午前7時～正午（なかよし保育の日は午後4時まで）

◎人数

第1明照児童クラブ	小学3年生～5年生	47名（男24名、女23名）
第2明照児童クラブ	小学1年生	29名（男23名、女6名）
第3明照児童クラブ	小学2年生	32名（男21名、女11名）

◎1日の活動の流れ

下校…各クラブ室に帰ってきます。ロッカーに荷物をしまい、手洗い・うがいを済ませて次の活動を行います。

宿題…宿題をします。宿題は強制ではないので、お家で行う子も多いです。



選択あそび…各部屋、園庭、屋上などに分かれて自由に遊びます。

保育園の小さな子のお世話なども行います。



お帰り…お迎えが来たら、挨拶をして帰ります。

掃除…各クラブ室などをみんなできれいに掃除をします。



おやつ…午後5時30分におやつを食べます。



延長保育…保育園の延長保育の子どもたちと一緒に過ごし、お迎えを待ちます。

◎1年の流れやイベント

4月 お花見

毎年恒例のお花見。満開の桜の下でお弁当を食べます。



5月 春の遠足

バスと電車に分かれて公園に出かけます。



6月 児童クラブ主催 アイスクリームショップ&ゲームコーナー 豊川リレーマラソン参加

保育園の行事に合わせて、児童クラブの部屋がアイスクリームショップやゲームコーナーに大変身！お金のやり取りや接客を行います。



7月 プール&水あそび

保育園のプールで泳いだり、水遊びのできる公園やプールに出かけます。



8月 保育園に泊まろう、ボウリング大会、社会科見学など
夏休み中は朝から児童クラブへ。たくさんのイベントが行われます。



10月 豊橋まつり、サンセットリレーマラソン参加

リレーマラソンはチームで力を合わせてフルマラソンを走ります。

11月 いもほり

今年はさつまいもの調理にも挑戦します。



12月 カレー屋、もちつき、クリスマス会

冬休みにも楽しいイベントがいっぱいです。

1月 書初め、スケート

書初めは今年の抱負を書きます。目標を持って、新しい1年を過ごそうね。



2月 保育園の遊戯会に参加

たくさんのお客さんの前で演技をします。

3月 東京ディズニーリゾートツアー、卒業式

たくさんの思い出でが詰まった児童クラブも卒業です。



子どもたちは、日々の生活やこれらの活動を通じて、大きくたくましく成長していきます！！

明照つばめっ子

未入園家庭への子育て支援日より

おびきいて〜

平成28年4月

社会福祉法人 明照保育園
幼保連携型こども園
明照保育園

園長 中島 章裕

〒441-8093 牟呂中村町6-1

TEL 0532-31-1419

Fax 31-1499

URL <http://www.tcp-ip.or.jp/~meisyow/index.htm>

e-mail meisyow@tcp-ip.or.jp

子育て真っ最中のお母さん そしてこれから子育てを考えている方へ
一緒に子育てを考えたり楽しんだりしませんか？

☆私の子育てって、これでいいのかしら
☆子どもにどう接したらいいかわからない
☆子どものことで心配なことがあるんだけど…
☆子育てと一緒にする仲間が欲しい
☆保育園で遊んでみたいなあ



こんな思いをお持ちの方、どうぞ明照保育園にいらしてください。

そして一緒に遊んだりお話したりしながら、楽しく子どもを育てていきましょう！

明照保育園では、子育てを応援するために、次のことを行っています。ぜひご参加下さい。

初めて参加する時に登録していただきます。子どもさんは毎回名札シールを付けて参加します。

※ 子育てをこれから予定している方も、お気軽にご相談下さい。お待ちしております！

【園庭開放】9:30~10:45

園庭や遊戯室で、親子で自由に遊んだり、子どもさんを見ながら、お母さん同士も気軽に交流をしたりします。時には保育中の園児と一緒に遊んだりもします。(右の表を参照)

【親子ひろば】9:30受付 9:45~10:45

園庭開放と同じ日に行い、同じ年齢の子ども同士で発達に合った活動を楽しみます。定員は、活動により15~20組親子の間で受け入れます。バスでの活動以外は予約の必要はありません。(右の予定表を参照)

【行事公開・参加】◎

園の行事をご案内しますので、どうぞ見学に来て下さい。(右の表を参照)

【保育園内見学】◆

園内や保育の様子等、どうぞ見学に来て下さい。(右の表を参照)

【育児相談】

育児について、お気軽に電話・メール等でご相談下さい。必要に応じて面談も致します。

【育児講座】

子どもさんの成長や子育てについて、専門の先生をお招きして講座を開きます。詳しいことが決まりましたら、『明照つばめっ子』や掲示板等でお知らせします。

【園の情報をインターネットで公開】 <http://www.tcp-ip.or.jp/~meisyow/index.htm>

【本園への入園を希望される方へ】

入園を希望する年度の前々年度の9月より相談を受け付けます。(入園申込ではありません)
また、来年度入園予定で手続きを進めているご家庭への説明会を9月初旬に実施します。
日程等は7・8月の園庭開放の時に、お問い合わせください。

☆園庭開放&親子ひろばの予定

月日	内容	月日	内容
5/11	園庭開放 親子ひろば【1・2歳児】 *みんなでおやつ(おやつ代100円必要)	10/26	園庭開放 親子ひろば【1・2歳児】 *おえかきしましょう
5/18	◆園内見学日(9:00~9:30) 園庭開放 親子ひろば【0歳児】 *みんなでおやつ(おやつ代100円必要)	11/9	園庭開放 親子ひろば【次年度0歳児】 *楽しく作ろう
6/15	◆園内見学日(9:00~9:30) 園庭開放 親子ひろば【1・2歳児】 *大きくなったね	11/16	園庭開放 親子ひろば【0歳児】 *楽しく作ろう
6/22	園庭開放 親子ひろば【0歳児】 *親子であそびましょう	11/30	◆園内見学日(9:00~9:30) 園庭開放 親子ひろば【次年度0歳児】 *みんなであそぼう
6/29	園庭開放&水あそび	12/14	園庭開放 親子ひろば【1・2歳児】 *つくっておどっちゃおう
7/6	園庭開放&水あそび	1/11	園庭開放 親子ひろば【次年度0歳児】 *親子であそびましょう
7/13	園庭開放&水あそび	1/17(火)	親子ひろば【2・1・0・次年度0歳児】
7/20	園庭開放&水あそび	1/24(火)	*園バスに乗ってあそびに行こう 9:30出発~12:00頃※予約が必要です
8/24	園庭開放&水あそび	2/7(火)	
9/7	園庭開放 親子ひろば【1・2歳児】 *みんなであそぼう	2/15	園庭開放 親子ひろば【0歳児】 *マラカスを作ろう
9/14	園庭開放 親子ひろば【0歳児】 *みんなであそぼう	3/15	園庭開放 親子ひろば【次年度0歳児】 *マラカスを作ろう
9/21	園庭開放 親子ひろば【次年度0歳児】 *みんなでおやつ(おやつ代100円必要)		

【準備するもの】毎回、お子さんに必要なもの(オムツ・飲み物等)はご家庭でご準備下さい。

0歳児(ねんねする子)はバスタオルをご持参されると良いと思います。

※貴重品等 unnecessaryなものは持ってこないようお願いします。

※天候や園の活動等により、予定は変更されることもありますのでご了承下さい。

※安全に楽しく遊べるよう、子どもさんからは目を離さないようお願いいたします。

※駐車場が限られていますので、来園はなるべく徒歩または自転車をお願いいたします。

大型店舗や路上への駐車はできません。

※夏の間の水あそびに参加する方は、水あそび用オムツまたはパンツ等の準備して下さい。

☆平成28年度の行事予定です。

◎ 8月27日(土) 夕涼み会 午後5時半から
となりのお寺(普仙寺)境内にて踊ったり夜店を楽しみます。

◎ 10月22日(土) 運動会
競技に参加した後で風船やおみやげをお渡しします。

◎ 11月12日(土) 明照まつり

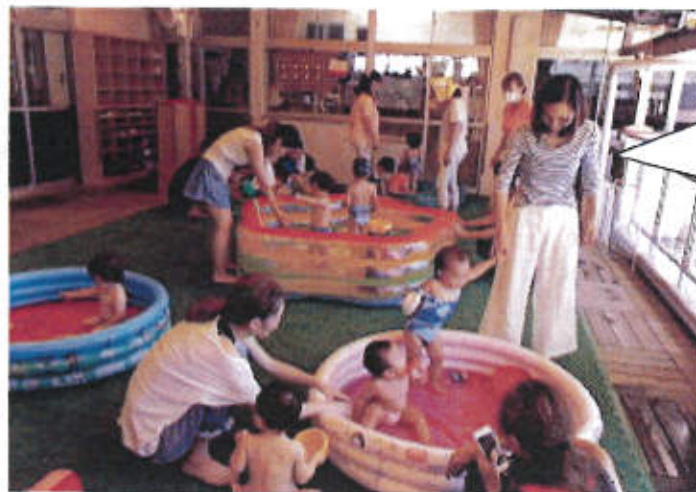
◎ 12月10日(土)~11日(日) 作品展
テーマを決めて園児の作品や絵を飾ります。

◎ 2月26日(日) ゆうぎ会 となりの牟呂小学校体育館にて行います。

園庭開放や年齢別ひろばの様子

園庭開放

園庭や遊戯室で親子で自由に遊んだり、子どもさんを見ながら、お母さん同士も情報交換をしたりしています。時には保育中の園児と一緒に遊んだりもしますよ！



楽しく水あそび

♪ちゅぷちゅぷ♪しゃわしゃわ～♪
遊戯室で遊びながら交代で水あそびをしました
プールデビューの子もいましたよ！

親子ふれあい体操

♪ペンギンさんのおさんぽ～♪
♪1. 2. 3～でアリさんのジャンプ♪
うたに合わせておうちの人とふれあい体操を楽しんでいます





1歳児ひろば

屋上でピクニックしよう

暑い日になったので、屋上で遊んだ後、室内でお弁当を食べました☆お家の人を作ってくれたおにぎりを自分で手に持ったり、フォークを使ってこぼさず上手に食べる子がたくさんいましたよ！みんなで食べると楽しいね♪



親子で体育あそび

5～10か月の月齢の子達が、体育指導の石川先生と一緒に親子で触れ合う体操やマット遊びを楽しみました。

♪ひこうきブーン♪ ♪おうまさんパカパカ♪

風船遊びも声を上げて大喜び♪キレイな色！！

0歳児ひろば





1・2歳児ひろば



カレンダーを作ろう

カレンダーの上の部分にお家の人と自由に絵を描きました。

♪どんぐりころころどんぶりこ〜♪どんぐりも登場！

お家の人と一緒に写真を撮ったり、コメントを書いてもらっ

りして、記念に残る2015年のカレンダーが完成しましたよ！

園内たんけんへGo！

同じ学年の子のクラスや来年入園するクラスの様子を中心に、

園内を探検した後、うたに合わせて楽器を鳴らしてみました。

タンバリンが1番人気！ すずやカスタネット等、初めて触る

楽器にみんなとっても嬉しそう♪おもちゃのチャチャチャ…♪



